

# 地域建設業将来展望（全建70周年展望）

## 大転換期の地域建設業は自ら未来をどう切り拓くのか

### 人口の減少という大転換

- ◇2015年の我が国の人口は、調査開始(1920年)以降、初の減少
  - ◇生産年齢人口の減少と高齢化が一層進行中
  - ◇産業間での熾烈な人材獲得競争
- 働き方改革を進め、人材獲得競争を勝ち抜き、担い手確保が必要条件

### 第4次産業革命という大転換

- ◇IoTなどの情報通信技術の発達による新たな付加価値の創出
  - ◇ロボット、AI、ドローンなど産業・社会生活等で進展中
  - ◇従来の産業構造、就業構造の劇的変化
- ICTなどの賢い活用、生産性向上は地域建設業の今後の命運を左右

### 大転換期の地域建設業

自らの変革の好機ととらえ、積極的にチャレンジしながら、地域建設業の強み(地域建設企業力)を活かした取組で新しい時代を構築

### 現状

- 建設投資額がピーク時から大幅減、必要なインフラ整備の遅延、大規模災害など、大きな人的・経済的損失の発生が懸念。
- 建設投資の地域間格差、都道府県内の地域間格差拡大。
- 限界工事を下回る地域の発生・拡大、地域の守り手不在の拡大懸念。
- 除雪の現場の人員・機材の維持困難の顕在化。
- 大規模企業と中・小規模企業の企業間格差、賃金格差拡大。
- 厳しい経営環境における後継者確保、事業承継問題。
- 2016年度の建設業就業者数はピーク時から約28%減、国土交通省が試算する2025年度の中長期的な担い手人数見込みに対し47~93万人の不足が生じる見通し。
- 専門学科の減少等による幅広い新規卒者の募集。
- 若者の入職促進・定着とともに、女性、高齢者等の更なる活躍の必要性。
- 全建で定めた「働き方改革行動憲章」の下、働き方改革への各企業の具体的取組が本格化。
- 週休2日の推進、長時間労働は正等に向けた働き方改革待たなし。
- 地域建設業のICT対応は未だ多くの課題。

### 地域建設業の役割

- **国土形成産業**として良質な住宅・社会資本の形成
  - ◇地域に根差し、地域を知り尽くした強み・ノウハウを活かした活動
  - ◇安全性、耐久性等に優れた良質な住宅、インフラ等提供による発注者や国民の信頼獲得
- **地域危機管理産業**としての安全・安心の確保
  - ◇災害・防疫協定に基づく応急復旧活動による安全・安心の確保
  - ◇インフラドクターとしての点検・維持・修繕活動による安全・安心の確保
  - ◇除雪業務による生活道路、幹線道路の安全や円滑な産業活動の確保
- **地域活性化・地方創生の主体：事業提案・創造産業**
  - ◇産学官・地域コミュニティ等のパートナー
  - ◇地域づくり・まちづくりに貢献
  - ◇インフラ老朽化対策に地域を熟知した地域建設業の関与
- **人材育成産業**として若者に生涯を託せる職場の提供
  - ◇希望の持てるキャリアパスの提示
  - ◇人生設計が可能な処遇の提供
  - ◇仕事と家庭、地域社会生活とが両立可能な働き方の実現
  - ◇安全・安心な現場の構築
- **地域基幹産業**として経済・社会活動による地域社会への貢献
  - ◇地域経済を支え、他産業への波及効果、生産誘発効果の発揮
  - ◇地域の一員として様々な社会活動を通じての地域の魅力・安心の向上

### これからの建設市場

- **甘くはないが、必ず必要であり、事業拡大が期待できる分野のある市場**
- **第4次産業革命 (IoT、AI等技術革新の取込み) 下での新たな社会資本形成**
  - ◇コンパクト+ネットワーク、スマートタウン、スマートハウス、スマートファクトリー
  - ◇高速道路網、新幹線網の整備、港湾・空港等のインフラ整備
  - ◇コンパクトシティの拠点駅等の周辺まちづくり
  - ◇配送センターの巨大化・機械化・省力化、ダブル連結トラック走行社会
  - ◇CLT(直交集成板)活用の木造高層建築物 など
- **凶暴化する自然災害や家畜伝染病などの災害リスクに備えた国土強靱化**
  - ◇国民の生命・財産及び社会インフラの被害最小化、迅速な復旧・復興への取組
  - ◇社会資本の耐震化、津波対策、巨大台風などへのハード・ソフト対策
- **既存の社会資本の維持・更新**
  - ◇今後一斉に老朽化するインフラの耐震化、長寿命化、再整備等に伴う投資拡大
  - ◇建設後50年以上経過する社会資本の長寿命化・更新の必要
- **世界経済の成長・発展に伴う開かれたゲートウェイとしての我が国の整備**

### 地域建設業の強み(地域建設企業力)とは、

- ◇地域に暮らし、地域の実情を熟知している優れた技術者・技能者を確保できる企業としての強み
- ◇生まれ育った地元で地域において誇りを持って働ける強み
- ◇地域の行政・住民と最も身近で顔の見える信頼関係の下で仕事ができる強み
- ◇地域のネットワークを最大限活用できる強み
- ◇地域の資源(人、モノ、資金、環境等)を活かせる強みなど

### 将来に亘り役割を果たす

### 地域に求められ続ける地域建設業が目指す方向

- **地域建設企業力を最大限発揮、活用**
  - ◇良質な住宅・社会資本の形成による信頼獲得
    - ・インフラ老朽化対策における計画・設計段階からの効率的な施工・計画の提案とともに、インフラメンテナンスエキスパートとしての活躍 など
  - ◇災害等緊急時の体制確保
    - ・BCP策定、業界全体での体制整備、地域維持型IV等の協力的体制 など
  - ◇地域社会の一員としての地域活性化・社会貢献
    - ・地域活性化、まちづくりへの参画、幅広い関係者との交流・連携 など
- **確固たる経営基盤の構築**
  - ◇高い生産性を確保できる企業
    - ・先を見通したi-Constructionへの取組、付加価値を高める努力 など
  - ◇優れた技術力を持つ企業
    - ・きめ細かな技術力の強化、技術力・企画力向上への取組、技術者育成 など
  - ◇働く人達に親しい、大事にすることができる企業
    - ・「働き方改革行動憲章」に基づく取組強化 など
  - ◇事業継続・危機管理体制の確立された企業
    - ・目標設定と達成までの道筋・プロセスの明確化とそれに向かう挑戦意識
    - ・危機管理・リスクマネジメント力の確立 など

### 新3Kの実現

- **給料**がいい
- **休暇**が取れる
- **希望**が持てる



発注者団体、建設業行政  
○ 国、地方公共団体  
○ 民間発注者の業界団体 など

建設関連産業界  
○ 調査・設計・測量関係団体  
○ 施設管理、建設機械リース業界  
経済団体  
○ 商工会議所 など

政府・政界・経済界  
マスコミ・学会 など

これまで以上の理解・協力・支援

連携の強化

パイプを太く強くし発言力・発信力を強固に

### 会員企業が活動しやすい環境整備をバックアップ

#### 都道府県建設業協会

- 会員企業が抱える課題への組織的対応
- 発注者の理解と信頼の確保
- 災害時業界対応の司令塔
- 地域建設業への理解者・応援団の確保・拡大
- 他の建設関係団体、経済団体の連携・協力
- 教育界との繋がり・パイプの確保

これまで以上の連携・支援

得意分野の結集

- 建設関連団体
- 前払金保証事業会社
  - 建設業福祉共済団
  - 勤労者退職金共済機構
  - 建設業労働災害防止協会
  - 建設業振興基金
  - 日本建設業連合会
  - 全国建設業団体連合会
  - 建設業専門団体連合会
  - 全国建設業協同組合連合会
  - 富士教育訓練センター等の教育訓練機関 など

### 都道府県建設業協会、会員企業が活動しやすい環境整備をバックアップ

#### 全国建設業協会

- 都道府県建設業協会の活動を全国レベルに引き上げ、強力に推進するためのエンジン → 政府・政界・財界等との関係強化、地域建設業の環境整備・広域的支援
- 地域建設業の魅力ある姿や社会資本整備の必要性を積極広報 → 効果的な広報展開、地域建設業全体の利益に繋がる調整、地域活動実績のわかりやすい提示
- 災害対策基本法に基づく指定公共機関としての役割を担う責任 → 関係機関との実践的訓練、情報集約手順の確立、地域建設業の各種防災制度位置付けの向上
- 建設関係団体、関連業界とも更なる関係強化とタイアップで建設産業界の発展に寄与 → 建設関係団体本部等とのパイプを活かした地域建設業の環境整備

これまで以上の連携

得意分野の結集

- 建設関係団体の本部
- 経団連などの経済団体

(敬称は省略させていただきます)